



施工兼取扱説明書

保証書付

キッチン用シングルレバー混合水栓

ホース引出しタイプ

スイス KWC社製 LUNA-Eシリーズ
品番：10.441.004.xxx (xxx=本体仕上カラー)
(本体カラー 000:クローム、176:マットブラック)

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有難うございました。
常に最良の状態でご使用頂く為に、この説明書をよくお読みの上正しくお使いください。
また本説明書には保証書が付いています。お読みになった後は大切に保管してください。

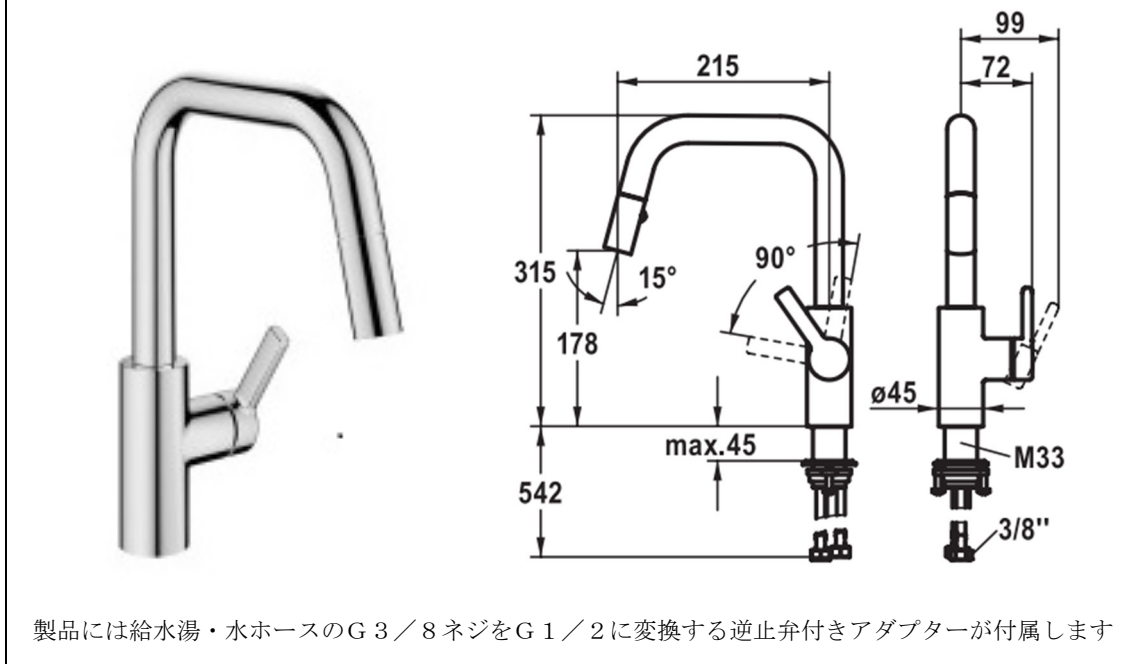
もくじ

- 商品図
- 安全上のご注意
- 必ずお守りください
- 技術仕様
- 取付前のご注意
- 施工
- 水受容器（別売）の設置
- 施工後の確認
- ご使用方法
- ご使用上の注意
- お手入れの方法
- 修理を依頼される前に
- 分解図
- アフターメンテナンスに関して
- 保証書

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。
取り付け後は、お客様にご使用方法及びお手入れ方法を十分にご説明ください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

●商品図



●安全上のご注意

- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
※エアレーター取り外し専用工具が同梱されている場合は、取扱説明書と一緒に施主様へ必ず渡してください。
- この施工説明書兼取扱説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

配管工事はすべての建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じておこなって下さい。

水栓の取り付けには、水栓を取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。配管工事に関する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの施工説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼して下さい。

管工事業者（法的有資格者）に依頼する工事：

- ・ 給水／給湯の一次側配管との接続および検査

上記以外の作業は、管工事業者（法的有資格者）以外でも可能です。

記号の説明

 注意	危険、注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為	該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	指示（重要）	該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。
	接触禁止	該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	分解禁止	該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。

●必ずお守りください

 注意	危険、注意	ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為	湯水を逆に配管しないで下さい。水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	禁止行為	引出ホースはキャビネット底面に接触せず周囲のものに干渉しないように施工してください。引出ホースが破損し漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	指示（重要）	水栓が凍結温度以下となると凍結破損で漏水被害等を引き起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	接触禁止	高温の湯をお使いの際は、吐水口やお湯に直接触れないようにしてください。やけど、けがなどのおそれがあります。
	指示（重要）	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。次に使用する際に水栓内に滞留した湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	お湯をお使いになる時は必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくりお湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。

	指示（重要）	他所の水栓との同時使用等により圧力の変動が起こり、湯温が急上昇する恐れがあります。 同時使用の際は湯温の変化に注意をしてください。 ヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こす恐れがあります。 ゆっくり操作してください。 漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	分解禁止	修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 破損、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。
	指示（重要）	定期的に、配管周りを点検し、水漏れやがたつきがないか確認してください。 製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。
	指示（重要）	引出し式混合水栓をご使用の場合に、水栓下部に取り付けられております水受けトレイ（別売品）は、ホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。水受けトレイの水が溢れると、漏水事故につながりますので、一ヶ月に一度は定期的に水がたまっていないかご確認ください。
	指示（重要）	引出ヘッドを無理に引っ張って使用しないでください。ホースとヘッドの接続部から漏水する危険性があります。

● 技術仕様

- 給水は上水道に接続してください。 ※温泉水・井戸水等には使用できません。
- 漏水事故防止や引出ホースの動作確保のため水受けトレイ（別売）をお使いください。
- 給水・湯圧、給湯温度は次の条件を守ってください。

 水圧	最低圧力 (流動圧)	0.15(MPa)	—
	最高圧力 (静水圧)	0.5(MPa)	これより圧力が高い場合は市販の減圧弁等で 0.2～0.3MPa に調整してください
	推奨圧力 (流動圧)	0.15～ 0.25(MPa)	水圧（流量）が低い場合はシャワー吐水モードが維持されません
	湯・水差圧 (静水圧)	最大 0.05(MPa)	湯・水の圧力差が大きい状態（例：電気温水器等と組み合わせて使用する場合）で使用する、圧力が弱い側が吐水されない、急に温度が切り替わる等があり危険です

 温度	給湯温度	最大 60(℃)	—
---	------	----------	---

● 取付前のご注意

- 逆配管をしないでください。
- 取付後の点検やメンテナンス、緊急時の止水のために、必ず容易にアクセスができる止水栓を設けてください。
- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い流してください。配管内にごみが詰まったまま、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こすことがあります。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良については、製品保証の対象外となります。
- キッチンのバックカウンターや壁にレバーハンドルが当たらないよう、水栓の取付穴後方は 80～100mm 程度 の余裕を持って下さい。

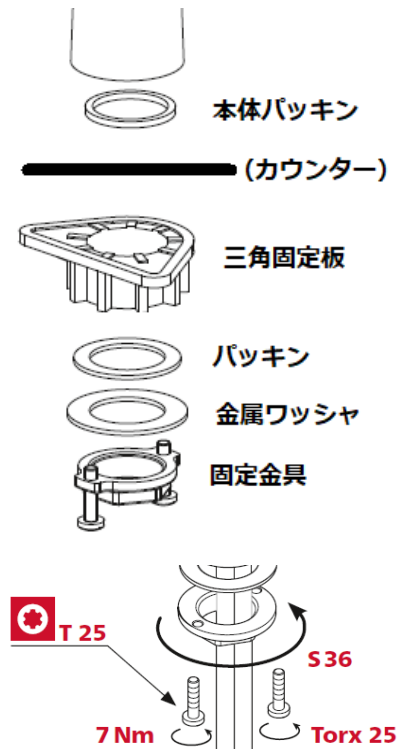
●施工

1. 配管内（給水・給湯）の清掃

配管内（給水・給湯）の清掃 製品の取付前に、必ず、配管内（給水・給湯）のごみ、砂などを完全に洗い出してください。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、吐水不良については、製品保証の対象外となります。

2. 本体の取り付け

- ① 本体の座部にパッキンが入っていることを確認後、本体をカウンター穴に差し込みます。
- ② 取付位置が正面であることを確認し、カウンター下より三角固定板、パッキン、金属ワッシャを本体芯に組み込み、固定金具を仮締めします。
※三角固定板はカウンターの厚みが十分でない場合に使用します。
- ③ 水栓本体の正面を正しく合わせ、固定金具を十分に締め付けます。最後に固定金具の2本のネジを締め込み水栓を固定します。 ※ネジは製造時期によりトルクスネジ（T25）仕様がありますので必要に応じて工具をご用意ください

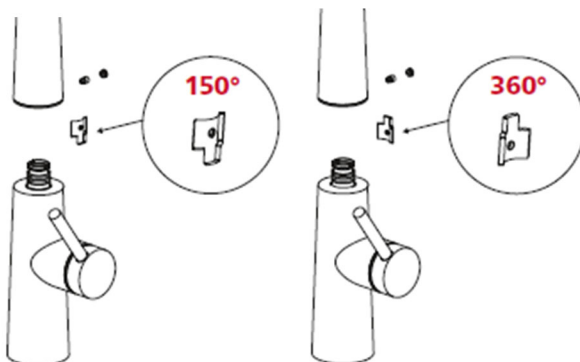


3. スパウト首振り角度の変更

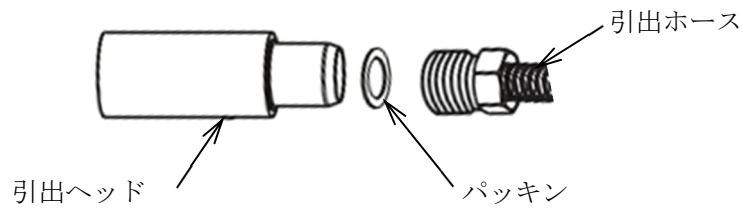
スパウトの首振り角度は150°又は360°に変更できます。

スパウト背面のキャップを外し固定ネジを緩めるとスパウトが取り外せます。

角度規制プレートを目的の角度に合わせて組みなおしてください。

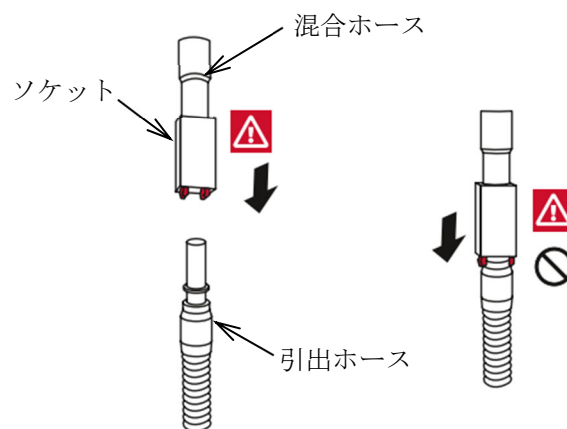


4. 引出ヘッドの取り付け



- ① 引出ヘッドにパッキンが挿入されている事を確認して下さい。
- ② 引出ホースを引出ヘッドに締め込みます。
※締め込みに問題がある場合は漏水しキャビネット内に水が浸入する恐れがあります。
- ③ スパウトから引出ホースを挿入します。

5. 引出ホースの接続



- ① ソケットを上側にずらします。
- ② 引出ホースをソケットの奥迄しっかりと挿入します。
- ③ ソケットを定位置迄下側にずらすと引出ホースはロックされます。
※引出ホースが奥迄挿入されていないとソケットは定位置迄下がりません。
(オレンジ色のツメが見えている状態はソケットが定位置迄下がっていません。)

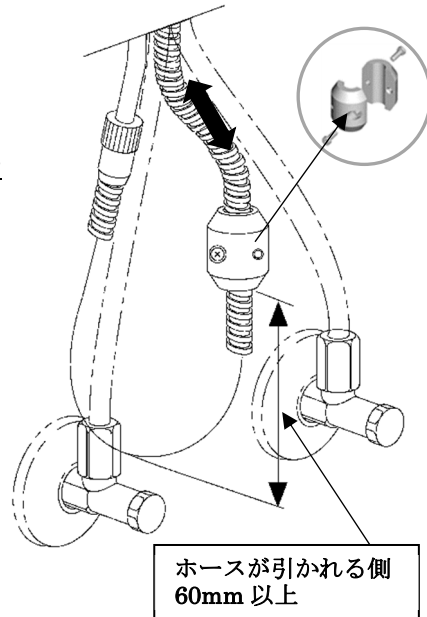
6. ホースストッパー（オモリ）の取付

※引出ホースを引出し過ぎない様にする為のストッパーです。



取付位置・作業が正しく行われないと水漏れや引出ホースの動作不良となる場合があります

- ① ストッパーの取付け位置を確認します
 - ・引出ヘッドを引いた時に引き込まれる側
 - ・ホースのたるみの下端からストッパーの下端まで 60mm 以上
- ② ストッパーで引出ホースを挟みビス止めします



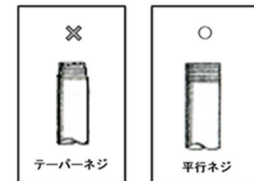
※取付後はヘッド部分を何度か出し入れし、ホースの捻じれやホースが止水栓等にあつからない事を良く確認して下さい。

※引出ホースはキャビネット底面に接触せず周囲のものに干渉しないように施工してください。

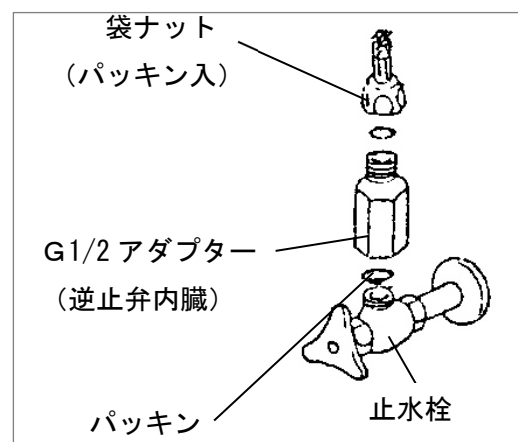
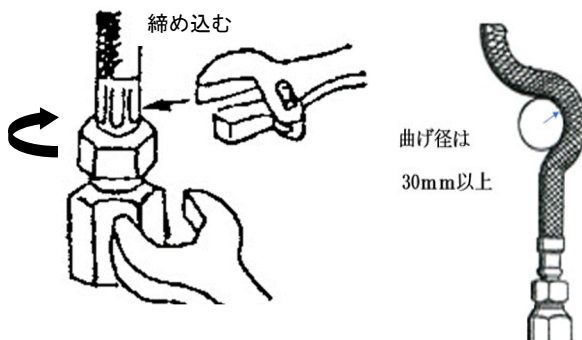
※キッチンシンクのサイズ等により引出し量を短くするにはストッパーの位置を上調整します

7. 逆止弁付配管アダプター、給水・給湯管への接続（管工事）

※アダプターは G(PF) 1/2 の平行ネジです。テーパネジを接続するとアダプターが破損して水漏れをおこす恐れがあります。必ず純正のパッキンを使用し、シールテープや配管用接着剤は使用しないで下さい。

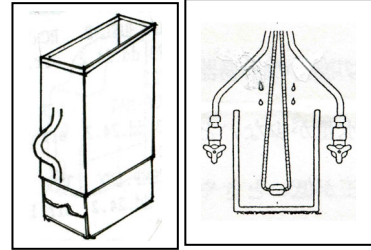


- ① G1/2 アダプターにパッキンを入れ、止水栓にしっかり固定します。
 - ・ブレードホースに赤色のテープが付いている方が湯側です。
- ② 耐圧フレキシホース先端の袋ナット部を配管アダプターにしっかりと締め付けます。 湯水ホースが供回りしたり、ねじれないように、確実に締付固定して下さい。
 - ※湯水ホースの最小曲げ径は 30mm です。
 - ・湯水ホースがねじれたり折れ曲がったりすると、吐水量の低下や破損の原因になります。



●水受容器（別売）の設置

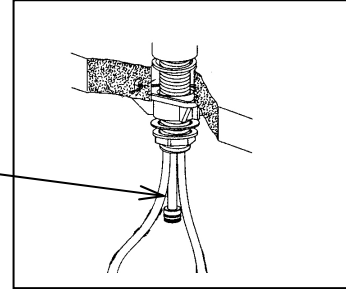
ホースに水が伝いキャビネット内に浸入する場合があります。
またホースが破損した際キャビネット内に水が垂れることを
防ぐため、必ず水受容器をご使用下さい。



- ① ホースのねじれがないことを確認する。

また、水栓金具本体下部にあるホースとの混合ホースが
真下（水受容器）に向かっていることを確認して下さい。

混合ホース



- ② 水栓金具の中心に水受容器の中心を合わせる
（横・正面とも）。

また、水受容器の位置を前に移動させることで、
よりスムーズにホースが戻りやすくなります。

※基本的には、上記の方法でホースはスムーズに出入れ出来ます。

キッチンの仕様（水栓金具の取付け位置・ひな段の有無/サイズなど）
によっては、現場での微調整が必要になります。

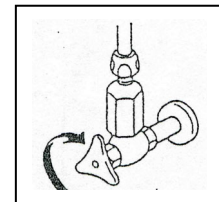
●施工後の確認

- ・ 全ての施工完了後、再度接続部ネジの締付を確実に行ってください。
- ・ 水漏れがないか再度確認をしてください。

- ・ 給水給湯圧の調整

必要に応じて止水栓で流量を調整します。

※流量（水圧）が低いとシャワー吐水が保持されません

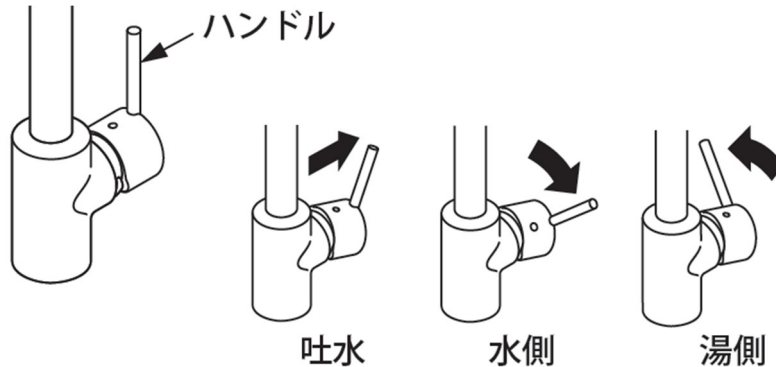


●ご使用方法

・吐水量・温度の調節

製品本体を正面にしてハンドルを右にすると水（湯）が出ます。

ハンドルを手前に回すと水が出ます。 奥へ倒すと湯が出ます。



・引出ヘッドの抜き差し・スパウトの回転

引出しヘッドはスパウトから引き出して使用可能です。

引出ホースのねじれ防止の為引出ヘッドは同向きでスパウトに収納して下さい。

スパウトは左右に首振りが可能です。

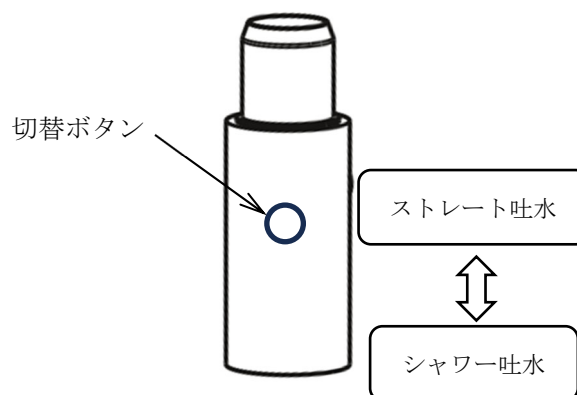
・シャワー吐水

引出ヘッドにある切替ボタンを下側にずらすとシャワーに切替わります。

止水をするとストレート吐水のモードに戻ります。（自動復帰方式）

シャワー吐水中に切替ボタンを上側にずらすとストレート吐水になります。

※水量や水圧が弱い場合、シャワーに切り替わらない・保持されない場合があります。



●ご使用上の注意

定期的に、配管周りを点検し、水漏れや、がたつきがないか確認してください。
製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。

・ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

吐水量が少ない場合や、給湯圧が低い時、水温が高い時は給湯器が着火しない場合があります。

・レバーハンドル操作

レバーハンドルはゆっくりと動かしてください。

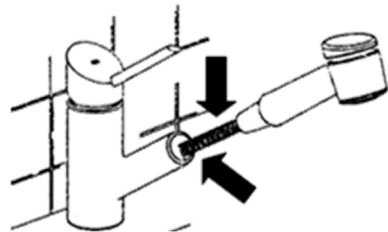
※急激な操作をすると、配管内で水撃音が出る場合があります。

・水かけの禁止



スパウト引出口や引き出したホースに直接水をかけないでください。水がホースを伝わり、キャビネット内に進入する恐れがあります。

※水が浸入してもキャビネットを濡らさないよう、必ず水受容器(別売)をご使用ください。



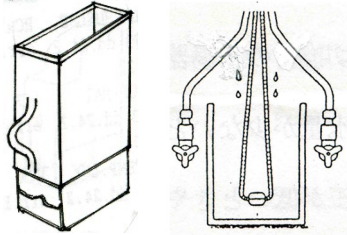
・水受容器の点検



定期的にキッチンキャビネット内の水受容器を点検し、水がたまっていれば捨ててください。

※短期間に大量の水が溜まる場合は、ホースの破損が考えられます。販売店、施工店、または弊社へご連絡ください。

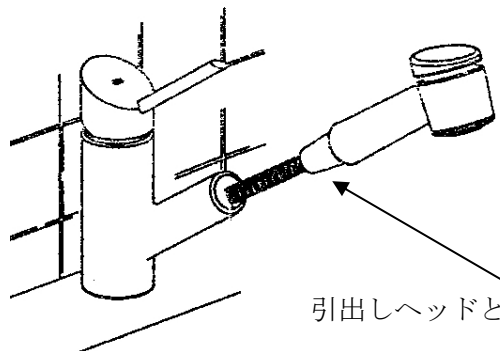
水受容器



・スプレーヘッドの確認



定期的に引出しヘッドとホースのつなぎ目が緩んでいないかを確認ください。
緩んだつなぎ目から漏水し、ホースを伝いキャビネット内に水が浸入する恐れがあります。



引出しヘッドとホースナット接続部

・キャビネット内の物を出し入れする際のご注意



キャビネット内の物を出し入れする際、水栓の給水給湯ホース・引出ホース部を引っ張ったり、無理な力を加えないでください。

●お手入れの方法 （快適にご使用いただく為に）

・汚れた場合は

汚れは乾いた柔らかい布で乾拭きをして下さい。汚れがひどい時は適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取って下さい。その後水拭きをして最後に柔らかい布で乾拭きをして下さい。

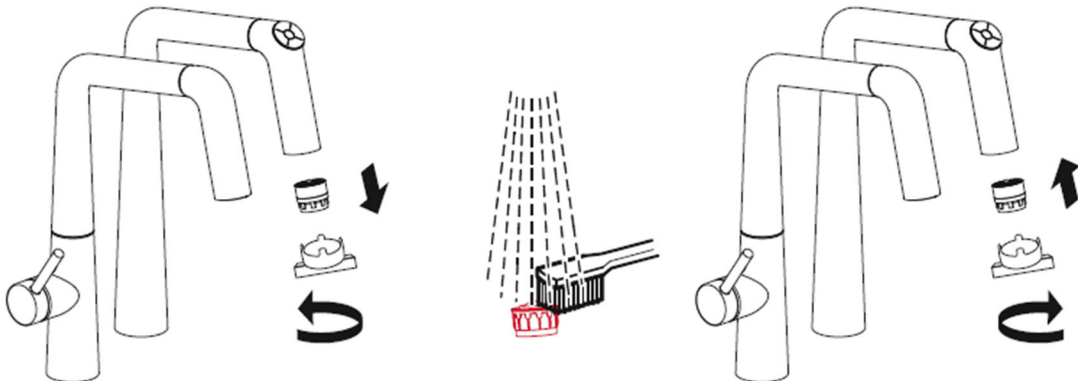
水栓の表面を傷める恐れのある物（下記は一例）は使用しないで下さい。



- ・ クレンザー、磨粉などの粒子の荒い洗剤やクリーナー。
- ・ ナイロンタワシ、金属タワシ、ブラシ類など
- ・ シンナー、ベンジンなどの溶剤

・整流器のお手入れ

吐水口先端の整流器にゴミ等が詰まる場合がありますので、定期的に次の要領で清掃してください。



整流器を取外すには製品に同梱されている専用工具を使用します（シャワーノズルと整流器が一体で取外せます）。

整流器を清掃する時は水で洗い流すか、やわらかい歯ブラシで軽くゴミを取り除きます。

整流器を組み戻す場合は、手で軽くねじ込んでネジがまっすぐ入っていることを確認して工具で組み戻してください。

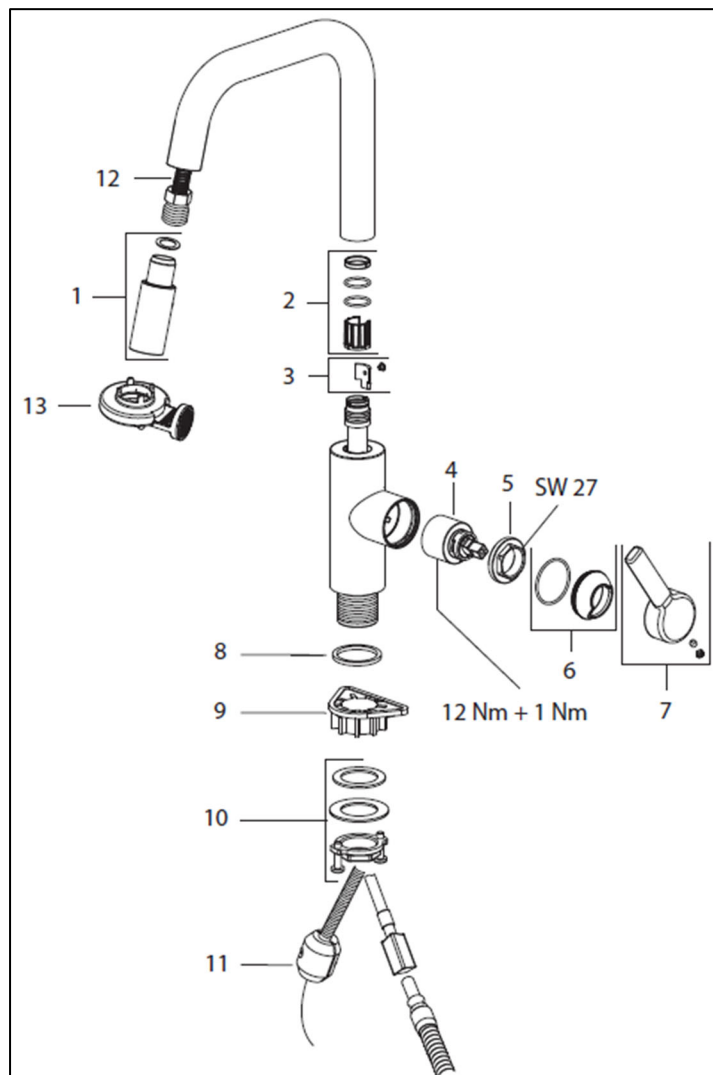
●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合があります。下記項目をご確認ください。

内容	原因	処置
吐水量が少ない 水しか出ない 湯しか出ない	1、止水栓が開いていない 2、配管内のゴミがフィルターに溜まっている 3、給湯器の温度設定が不適切	1、湯・水の止水栓を調整する 2、整流器を取外し洗浄する 3、給湯器のから十分な湯が出ているか確認する
温度調節が出来ない	1、配管内のゴミがフィルターに溜まっている 2、給湯器の温度設定が不適切 3、水の圧力が強すぎる	1、「吐水量が少ない」2を参照 2、「吐水量が少ない」3を参照 3、湯水の吐水量が同量であるか確認する ※レバーハンドルを湯側いっぱいに合わせ吐水し湯側の止水栓で湯量を適量に調整する。その後レバーハンドルを水側いっぱいに合わせ、湯側と同様の吐水量になるよう止水栓で水量を調整。
水の量が多すぎる 使用時に音がする	水の圧力が強すぎる	水側の止水栓を締め、水の量を少なくする
シャワーモードが保持されない	1、水压（流量）が低い 2、元圧が低い	1、「吐水量が少ない」を参照 2、製品の問題ではありません。給水・湯圧を製品の作動圧内としてください。
完全に止水できない、 ポタポタ水がたれる レバーの付根部、水栓 本体のつなぎ目から 水がにじみ出る	水栓内部に内蔵されている カートリッジが破損している	販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、カートリッジ交換を行う
水受容器に水が溜まる	1、スプレーヘッドとホースナット部の接続が緩んでいる 2、ホースが破損している	1、スプレーヘッドとホースナット部の接続が緩んでいないか確認する 2、販売店、施工店、弊社へメンテナンス依頼をしてホース交換を行う

上記の処置で故障が直らない場合は、販売店、施工店、弊社のいずれかへご連絡ください。
上記処置以外の分解、修理、改造は行わないでください。

●分解図



***仕上げ色コード: 000 chrome, 176 matt black

No.	Code
1	Z.538.043.***
2	Z.538.319
3	Z.538.454
4	Z.537.584
5	Z.638.735
6	Z.538.295.***
7	Z.538.630.***
8	Z.638.911
9	Z.532.241
10	Z.538.315
11	Z.538.039
12	Z.538.444.106
13	Z.638.306

●アフターメンテナンスに関して

・保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書が付いています。

保証期間は施工後 2 年以内です。

・修理を依頼される時

お求めの販売店、施工業者、弊社のいずれかへご連絡下さい。

《連絡していただきたい内容》

- 1、ご住所・お名前・お電話番号
- 2、品名、品番（表紙を参照）
- 3、ご購入日
- 4、異常発生箇所（各部の名称を参照）、症状

《保証期間中は》

修理時に保証書をご提示下さい。

保証書の規定に従い修理させていただきます。

《保証期間が過ぎている場合は》

修理すればご使用できる商品に関しては、ご希望により有償で修理させていただきます。

《メンテナンス料金について》

・メンテナンス料金は、

出張料 + 技術料 + 部品代金 で構成されます。

保 証 書

本保証書は、その記載内容にしたがって無償修理を保証されています。下記保証書期間内に故障した場合は取扱工事店又は弊社へご連絡の上、訪問したサービス員に本保証書をご提示下さい。尚、取付日・お客様名・取扱店の記入が無い場合無効となります。

品名 品番 : KWC LUNA-E 10.441.004.xxx

(xxx=本体仕上カラー) (本体カラー 000:クローム、176:マットブラック)

使用開始日 :

お名前 :

ご住所 :

お電話番号 :

取扱店名 :

保証内容

- 1、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態において発生した、製造上・品質上の原因による故障や損傷については、使用開始日より2年間の無償修理を致します。
- 2、保証期間内に故障した場合は、お買い上げの代理店又は弊社までご連絡下さい。
- 3、サービス員が訪問いたしました際は本証書をご提示ください。ご提示の無い場合は有償修理とさせていただきます。
- 4、次の場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - 1) 誤ったご使用方法による故障や損傷
 - 2) 不当な修理や改造による故障や損傷
 - 3) ゴミや異物等による品質上の原因以外の止水不良
 - 4) 火災、天災、災害、地変、凍結等による故障
 - 5) 取付後の移動、又は輸送によって生じた故障、損傷
- 5、本保証書は水栓本体に限ります。
- 6、本保証書は日本国内に限ります。
- 7、本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
保証期間後の修理は取扱説明書をご覧の上、取扱工事店、又は弊社へご連絡下さい。



株式会社エスユー技研

東京営業所 東京都千代田区岩本町 2-1-3 和光ビル 1 階

TEL 03-5825-3761 FAX 03-5825-3762

(平日 9:00~17:30 土・日・祝 休み)